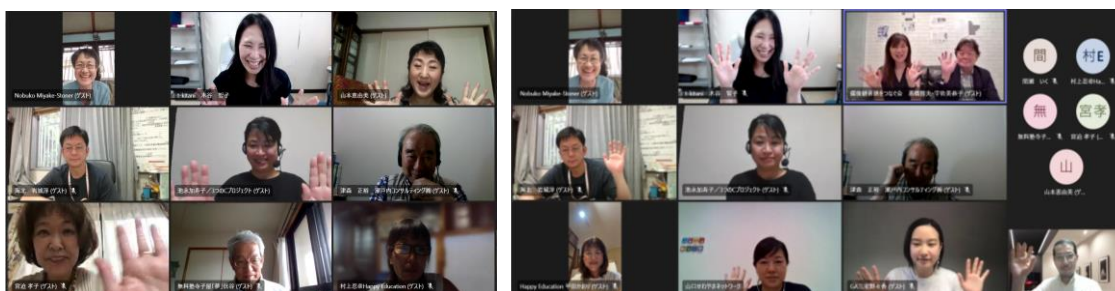


第1回マツダ財団市民活動支援セミナー 「少年期の心理」

1. 日時： 2022年6月25日（土）14:00-15:45
2. 場所： オンライン Microsoft Teams 使用
3. 講義テーマ：「少年期の心理」～カウンセリングにおける基本的な傾聴技法の体験～
4. 講師： 比治山大学 木谷智子先生
5. 参加者： 14名

市民団体の皆様に、活動の基盤となる知識を得ていただき、各団体の活動がより良くなることを目的として、専門家による無料セミナーを開催することとしました。

第1回目の今回は、比治山大学の木谷智子先生をお招きして、「少年期の心理」と題して、カウンセリングにおける基本的な傾聴技法の体験をしました。この講義はマツダ財団が毎年広島市近郊の大学で寄付講義として行っている「ボランティア活動」8コマの中の1コマで、学生だけでなく、市民団体の皆様にぜひ学んでいただきたいと思い取り上げました。



最初のドレスの色は何色に見えるかの質問で、人は同じものを見ても同じように見えていないことから人の気持ちを理解することの難しさを学びました。特に子どもは認知機能の発達段階にあり、大人とは見えている世界が違うということです。

そして、*FELOR モデルと基本的な傾聴技法を学んだ後に、ブレイクアウトルームに分かれてペアワークを体験しました。まずは、良くない話の聞き方体験で、話を聞こうとしない相手に話すときのどのような気持ちになるのかを体験し、続いて、基本的な傾聴技法（最小限の励まし、質問技法）を使って聞くとどう感じるかを体験しました。そして、最後に、どう感じたかを何人かに発表していただきました。子どもの扱いに慣れた参加者も、傾聴技法の大切さを改めて確認されました。

*FELOR モデル：Face：顔を相手に向けて話を聞く、Eye-contact：相手の視線を優しく見守る、Lean：身体を相手の方に傾ける、Open：閉ざされた姿勢ではなく、開かれた姿勢で、Relax：落ち着いてリラックスした気持ちで の頭文字をとったもの。

今回の参加者は、現在支援中（市民活動支援4名、若者×ツナグバ1名）に対し、過去に支援した方9名と幅広く集まっていただきました。今後も、支援中だけでなく、支援後も繋がって行ける場を提供したいと思います。皆様からの近況をお待ちしています。

（井上）